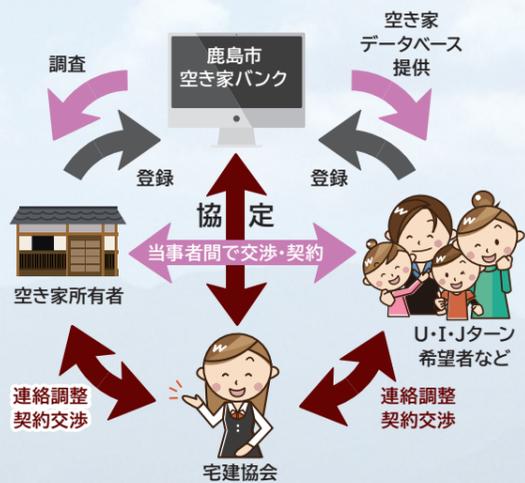


住む 《空き家に住む》《定住促進住宅に住む》《移住体験施設》

空き家に住む



《空き家バンク制度》
鹿島市では、空き家を有効に活用するため、宅建協会と連携して、移住を希望される方に空き家の情報を提供しています。空き家を活用したい人、U・I・Jターンで鹿島市への移住を考えている人など、まずは登録してみませんか。

空き家活用事業助成金

空き家バンクに登録された空き家の改修工事に対して、改修費を助成します。

- 対象となる人
 - ・3年以上市外に居住した人が市内の空き家に住民票を移し、継続して3年以上定住しようとする人
 - ・3年以上市外に居住した転入者に空き家を賃貸し、延べ3年以上活用しようとする建物の所有者
- 助成率…助成対象経費の1/2(助成限度額:50万円)
※市内の業者が工事を行うことが条件です。

定住促進住宅に住む



《中村住宅》
2019年2月に完成した子育て世帯・新婚世帯を入居対象とした住宅です。国道207号バイパス沿いに立地し、徒歩約10分圏内に小学校、商業施設、病院などがあります。

《古枝住宅》
日本三大稲荷の祐徳稲荷神社にほど近く、自然豊かなところです。国道207号バイパス付近に立地し、徒歩約10分圏内に保育園、小学校、中学校、コンビニなどがあります。

市外からの移住者には優遇あり!

- その1. 月々の家賃から上限3,000円が減額されます。
- その2. 小学校就学前の子どもがいる場合は、さらに上限2,000円が減額されます。
- その3. 敷金が免除されます。(※古枝住宅のみ)
(その1、その2の減額期間は入居後2年間限定です。)

移住体験施設 《肥前浜宿の茅葺町家で暮らす体験!》

「移住したいけど、どんなところかわからない」「地域に溶け込めるか不安…」そんな声にこたえて、2018年4月に、移住体験施設、旧筒井家住宅がオープンしました!
国の重要伝統的建造物群保存地区である「肥前浜宿」の伝統的な茅葺町家で、一定期間お試し移住体験として暮らすことで、肥前浜宿・鹿島市の人や歴史、文化、まちなみの魅力を知っていただくための施設です。



使用料: 1泊あたり1,500円/棟
※光熱水費込み
対象: 市外からの移住希望者
(1グループ限定 最大5名程度)
利用期間: 2週間以上1か月以内

働く

鹿島市内の様々な地域資源を活かし、新しい事業に取り組みたい、自然の中で働きたい等意欲のある人を積極的に支援します。

創業支援

起業を目指す人へ鹿島商工会議所等の関係機関と連携し、支援を行っています。

かしまビジネスサポートセンター(かしまbiz)

起業や経営に関する相談内容に応じ、各分野の専門相談員が無料で対応します。

空き店舗等活用による新規出店者誘致事業

市内の指定地域(中心市街地・肥前浜宿・祐徳門前商店街)の空き物件を活用した創業・オフィス等の開設を支援します。
●補助率…改装費の50%(補助限度額:100万円)

先輩
移住者の声
濱崎 このみさん



2020年に移住しました。鹿島にどんなお店があるのかも全く分からなかったのですが、「自分も楽しめるお店を開いてみよう!」と思い立ち、かしまbizのサポートを受けながら、有明海の幸とお酒を楽しめる家庭料理店「寿栄」をオープンさせることができました。また、海苔のパッケージなどにも携わり販路拡大も企画しています。鹿島にはまだまだ手つかずの資源がたくさんあり、これから移住してチャレンジする方には鹿島はとても魅力的な場所だと思います!

就農支援

鹿島市は第1次産業が盛んな地域です。平野部から山間部まで、様々な農産物が生産されています。農業経営者になることに強い意欲を持った人に、研修期間や経営が軌道に乗るまでの間を支援するための給付金や研修施設であるトレーニングファームでの実践的な研修機会の提供などの支援を行っています。

トレーニングファーム研修生移住定着支援事業(家賃補助)

トレーニングファーム研修生で、市外から転入して就農される方には、家賃などの支援を行います。

- 市外からの転入…(家賃補助)30,000円/月を最大3年間補助
- 県外からの転入…(引越し助成)最大10万円を補助



育てる

鹿島市は、「妊娠・出産・子育て」という人生のライフステージそれぞれにおいて、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進しています。



子育て支援センター 子育てひろば『わ・わ・わ ぽっと』

脳や身体の発達を促す大型遊具や絵本、お絵かきコーナーなどがあるひろばは親子で自由に過ごすことができ、育児の悩みや不安、心配事などを子育てアドバイザーに気軽に相談できます。また、季節に応じた行事、手遊び・運動遊びや読み聞かせ、子育てクッキング等を通して、子ども同士、親同士の交流を広げる楽しい「ひろばの集い」も行っています。

子育てを全力で支援します

- 子どもの医療費助成
0歳~15歳(中学3年生)までの保険診療、高校生の入院にかかる自己負担額の一部を助成します。
- 乳幼児健康診査
大切なお子さんの健やかな成長を見守るために、4か月児、9~10か月児、1歳6か月児、3歳6か月児の健康診査を無料で実施しています。
- 放課後児童クラブ
昼間、保護者がお仕事等で家にいない家庭の小学校児童を、放課後や夏休み等に預けることができる放課後児童クラブを全校区に設置しています。
- こんにちは赤ちゃん訪問
母子保健推進員が、生後2~3か月と1歳頃の市内すべての赤ちゃんのお宅を訪問し、健診の案内をお渡ししたり、相談に応じたりします。その他、妊娠・出産・育児等に関して必要な場合は保健師・助産師が訪問します。

市内の保育所・幼稚園・学校等数

保育所	12	小学校	7
幼稚園	1	中学校	2
認定こども園	3	高等学校(県立)	1

暮らす

鹿島市は、「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を目指して取り組んでいます。

医療 市内には、小児科、内科、外科、歯科など、約40の医療機関があります。休日・夜間の医療体制は、在宅当番医制や夜間の小児救急医療の体制が整っています。

水 鹿島市は多良岳山系からの清らかな地下水に恵まれています。市内で供給する水道水は地下水で賄われており、安全で美味しい水がいつでも飲めます。

防災 防災意識の高まりにより安全安心のまちづくりが求められています。市では防災機能の拠点となる鹿島新世紀センターを建設。災害時の必要な情報をお知らせする情報伝達システムとして各戸へ告知放送受信機の設置を進めています。また、市民と一体となった自主防災組織の育成や災害時の備蓄品を充実させ、災害に強いまちづくりを進めています。



※平成28年9月に新世紀センターが完成しました。防災情報伝達、災害対策の核となる施設です。